

	情報倫理	担当教員：棚 橋 二 朗	2単位
設 題	<p>＜提出方法：インターネット提出＞</p> <p>設題：情報技術を活用して生活していく上で我々に求められている『情報倫理』とはどういうものか論述せよ。その際、以下の設問に関する記述的主張を展開した上で、規範的主張を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法律を遵守しているだけで、倫理的な振る舞いをしていると言えるか。</li> <li>・情報倫理の取り扱う社会的課題は何か。具体例を複数挙げなさい。</li> <li>・これらについて、あなたは普段どのような実践をしているか。</li> </ul> <p>※再提出を宣告されないよう、下記注意事項を必ず熟読し従うこと。</p>		
作成方法	作成方法は「ワープロ」		
ワープロ	<p>通信教育部標準フォーマット、またはWordデフォルトフォーマット（A4縦・余白35/30/30/30・本文10.5p・36行）から変更せず作成。これらに従わないものは、評価しない場合もあります。</p> <p>WordやPDFファイルで保存してインターネット科目試験ページから提出。</p>		
文字数等	1,000字以上（設問と関連が乏しい記載や引用部分、図表は文字数のカウントに含めない）・横書き		
注意事項	<p>●引用について</p> <p>レポート作成で参考や引用した本やWebサイトなどがある場合には出典を必ず明記し、引用部分は『』で囲む形で自分の文章と区別してください。なお、引用部分はレポート評価の対象外です。</p> <p>教科書の内容は科目試験で問いていますので、教科書の内容を書き写す形で引用する必要はありません。</p> <p>また引用は、自分の文章と「主従の関係」となる必要があります。特に全体の50%を超える引用を行った場合や『』などで引用箇所を明示しなかった場合は著作権法に抵触する事態となり、まさに情報倫理的な問題となります。絶対におやめください。</p> <p>極端な話、この講義のレポートでは、引用は一切しなくても結構です。『自ら考えること』をこの講義では重視しています。</p> <p>●内容について</p> <p>辞書的な意味を記述する必要はありません。特に「倫理とは」「法律とは」「情報化社会とは」といったようなものは不要です、唯一の読者である担当教員はそれらについて明確に知っています。</p> <p>1,000文字を超える必要はありませんが、文章の最後に文字数を表記する必要はありません、こちらでツールを利用します。冗長な表現や引用部分はカウントしませんので、全体の文字数合わせのみに終始すると、簡単に1,000文字に満たないものと宣告されます。何千字書いても結構です、大目に書くよう心がけてください。</p> <p>一般論を述べるだけでは具体例とは呼べません。ニュース記事などは適切な引用の上で記載していただいても構いませんが、評価（文字数カウント）の対象外となります。単に引用するだけではなく、そこから自分の主張を展開してください。</p> <p>検証可能性を担保してください。見たことのあるニュース記事を記憶のまま書くことはせず、必ず参考文献から引用する形をとってください。法律などに関して述べる際も、正しい記載となるよう必ず原文や解釈を調べ、条文を引用してください。</p> <p>事実を述べることを「記述的主張」といいます。一方、倫理レポートではこれらの事実を元にして「～～すべきだ」とする「規範的主張」が求められます。記述的主張のみで構成されたレポートを提出しないようにしてください。詳しくは学習プリントをご覧ください。</p> <p>●評価について</p> <p>倫理には実践が欠かせません。最も大切なことは『自ら考えること』です。この講義のレポートは、「いかに自分の考えを自分の言葉で述べる事が出来たか」を評価します。</p>		